

入学式 式辞

柔らかな風が木々の芽吹きを誘い、命の始まりを感じさせる季節となりました。本日のこの良き日に、四国中央市長 大西賢治様、四国中央市教育委員会 喜井孝志様、PTA会長 合田澄様をはじめ、多くのご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに入学式を挙行できますことに、心より厚く御礼申し上げます。

そして、136名の新入生の皆さん、

川之江南中学校へのご入学、誠におめでとうございます。今日ここにいる皆さんは、少し緊張している人もいれば、楽しみでいっぱいの人々もいることでしょう。

中学校生活は、これから三年間続きます。

その三年間は、楽しいことばかりではなく、悩んだり、失敗したり、時には心が折れそうになったりすることもあるかもしれません。しかし同時に、この三年間は、自分の可能性を大きく広げることのできる、とても大切な時間でもあります。

さて、ここで少し、校長である私自身のことをお話しさせてください。

今、皆さんは校長先生の顔を見えていますね。

どうでしょう……少しでも覚えてもらえたでしょうか。

(余裕があれば) まあまあのイケメンだと、思ってもらえたらうれしいです。

校長先生は、この川之江南中学校で、皆さんと一緒に、とても大切にしたい考えがあります。それは、

「共に生き合い、命を輝かせる」ということです。

「共に生き合う」というのは、どういうことでしょうか。

それは、一人ひとりが「自分は大切にされている存在だ」と感じながら、同時に、まわりにいる友達のことにも大切にできる人になっていく、ということです。

そのために、特別なことをする必要はありません。

ほんの小さな行動でいいのです。たとえば、

教室で元気のない友達がいたら、「大丈夫？」と声をかけてみること。

失敗して落ち込んでいる友達に、「だいじょうぶだよ」「次があるよ」と伝えること。

朝、登校したときに、笑顔で「おはよう」とあいさつをすること。

そうした一つひとつの行動によって、声をかけられた友達は、「うれしいな」「安心したな」と感じます。

そして実は、声をかけた皆さん自身の心も、少しずつ、やさしく、そして強くなっていくのです。

人を大切にすることは、自分自身を大切にすることにもつながります。この川之江南中学校が、誰もが安心して過ごすことのできる学校であり、一人ひとりの命が、あたたかく、いきいきと輝く場所であるように、校長先生は、先生方、そして皆さんと共に、力を尽くしていくことを約束します。

新入生の皆さん。困ったときは、一人で抱え込まなくて大丈夫です。友達や先生、そして私たち大人を、どんどん頼ってください。この学校には、皆さんの味方が、たくさんいます。

結びになりますが、保護者の皆様に一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、大切な
お子様のご入学、誠におめでとうございます。

無事にこの日を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

私たち教職員一同は、生徒一人ひとりの限らない可能性を信じ、その力を最大限に
伸ばすことができるよう、全力を挙げて教育活動に邁進する覚悟でございます。
本校の教育方針にご理解を賜りますとともに、今後とも温かいご支援、ご協力をお願い
申し上げます。

最後に、

今日より明日へ、明日よりも明後日へと、生徒一人ひとりが着実に成長し、川之江
南中学校が、さらに前進していくことをお約束し、式辞といたします。

令和八年四月九日

四国中央市立川之江南中学校

校長 宇野 公規